

リープтонエネルギーは神戸で生まれた日本の太陽電池モジュールメーカーです

リープтонエネルギーを選ぶ理由

安定したパネル供給が可能です

パネルは安心の
自社工場製造



2021年10月に生産体制を増強

年間生産能力 | 2GW/年

日本品質の厳しい目で製造管理。最新鋭の設備を投入した自社工場で大量生産を実現。安定したパネル供給が可能です。

トップメーカーの証
Tier1 6期連続選出



米ブルームバーグ・ニュー・エネルギー・ファイナンス (BNEF) が四半期ごとに、「Tier1=トップクラス」と定め、発表するリストがTier1リストです。Tier1に連続選出されるということは、パネルの信頼性が国際的にも認められたということになります。

国内メーカーならではの
長期保証で安心



各種認証を取得、充実の保証が付帯し、長く安心してお使い頂けます。



15年
製品保証

25年
出力保証

LP182*182-M-54-MH-400W 効率20.4%
LP182*182-M-60-MH-450W 効率20.8%



目指せ！！
カーボンニュートラル！
太陽光発電でサステイナブルな社会へ

リープтонエネルギー

生産能力5GW/年へ 品質力、供給力、コスト競争力で国内住宅に攻勢

2022年、リープтонエネルギー(神戸市、周鳴飛社長)の年間生産キャパシティが5GWを越える見通しだ。同社は12年7月に兵庫県神戸市で創業したパネルメーカーで、本社は神戸に在りながら、中国江蘇省常熟市にパネル工場を保有、現在の年産能力は今年10月時点で2GWまで拡大している。

日本に留まらず豪州や東南アジア、欧州や中南米にも供給しており、パネル出荷量は9月時点で国内476MW、海外925MWを超え、世界的なパネル需要からさらなる増産計画を打ち立てた。今年5月にはリープтонテクノロジーとして自社工場をグループ企業化し、今冬か

ら同地で工場の拡大工事が開始される。常熟市内の自治体とも共同で蘇州虞麗能源科技有限公司を設立し、周社長は「常熟市内の太陽光発電所の設置に向けても動いている。需要は旺盛であり、生産能力はまだまだ欲しい。さらに2~3GW/年の増産を計画している」と状況を明かす。20年度、リープтонエネルギーの売上高は30%以上の増収を達成し約120億円であったが、各国の発電所のパネルニーズから今年度は倍増となる240億円を見込む。

自社工場保有の国内メーカー

周社長は「自身が中国人のせい、中



●リープтонエネルギー工場拡大計画



国メーカーの一つと誤認されがちであるが、日本の神戸で会社を立ち上げた歴史とした日本メーカーである」と語気を強める。改めて伝える真意について「現在、世界出荷の大半を寡占する中国メーカーは、計画停電や大陸内需などで、大手ほど安定供給は難しくなっている。その点、日本メーカーかつ自社工場を保有する当社であれば、中国政府からの制限も受けず、日本市場への安定供給が可能であることを知ってもらいたい」と自信を覗かせる。

日中の貿易業務を担当する韓河亮資材部長によると「製品にもよるが住宅用であれば1~2週間で出荷が可能だ」とし、中国工場の新設計画も奏功し、原材料ウエハの大量供給も向こう一年は安定したものになるという。

また、世界6大陸を拠点に調査員を配置するエネルギー事業者や専門家を支援する研究機関Bloomberg New Energy Finance (BNEF) が選定する『2021 Global PV Market Outlook』でTier1リストに選ばれた。四半期毎に評価されるものであるが同社は7期連続の選出となる。

周社長は「既に大手プレハブメーカーへの供給も決まった。パネル価格が世界的に高騰している中で、Tier1認定の製品信頼性、安定した供給力、そしてコストパフォーマンスを当社の強みとし、国内住宅向け攻勢を強めていく」と展望を語る。



リープтон エネルギー

周鳴飛 社長

リープтонエネルギー株式会社 | リープトンソーラー | 検索
【本社】〒650-0025 兵庫県神戸市中央区相生町 1-2-1 東成ビルディング 6F
【東京支社】〒105-0004 東京都港区新橋 3-5-10 新三ビル 6F

0120-850-800
info@leaptonenergy.jp

